

府中市における ヤングケアラーの相談窓口

① ケアラーワークス

電話：042-309-5130

平日 10:00～17:00（祝日除く）

LINEでの連絡もできます

公式LINE



② 子育て世代包括支援センター 「みらい」

電話：042-319-0072

平日 8:30～18:00（祝日除く）

住所：府中市宮町1-41 フォーリス3階

府中市HP



一般社団法人 ケアラーワークスとは

大切な人をケアしている人（ケアラー）も大切な存在として、社会で支えあえる環境づくりが重要だと考えています。

私たちはヤングケアラー・若者ケアラーを中心に、サロンや勉強会、ピアサポート活動、普及啓発、研究調査等を行っています。

設立日 2022年2月22日

代表理事 田中 悠美子
理事 伊藤 耕介
理事 米村 純代
監事 野手 香織

ケアラー
ワークス

Wishing carers
happiness

Office

ケアラーワークス所在地

〒183-0022

東京都府中市宮西町4-13-4

とりときハウス302

🌐 HP <https://carers.works/>

✉ メール info@carers.works



Instagram



公式LINEアカウント

府中市ヤングケアラープロジェクト

市とケアラーワークスで
連携をしています
どちらに連絡しても大丈夫です

家族のケアをしている子どもや若者の皆さん、教職員、民生委員・児童委員、医療・介護・福祉の関係者の皆さんから、ヤングケアラーに関する相談や問い合わせを受け付けています。お気軽にご連絡ください。

府中市と日本財団が協定を締結し実施するモデル事業で、市とケアラーワークスが協働してプロジェクトを推進します。

府中市 ヤングケアラー プロジェクト

ヤングケアラーとその家族を支援する自治体モデル

Supported by  THE NIPPON
財団 FOUNDATION

ケアすることは特別なことではないよ

ヤングケアラーとは

「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子どものこと」をいいます。
(参考 日本ケアラー連盟ヤングケアラープロジェクト)

また、18歳を過ぎてもケアが続くことがあります。その場合は**若者ケアラー**といわれています。年齢にかかわらずケアラーを支えるしくみづくりが必要です。

ヤングケアラーがしているケアの内容は

病気や障がいのある親の代わりに家事をすること、きょうだいの世話、外国語や手話などの通訳、病気や障がいのある家族の身体面や感情面のサポートなどさまざまです。

国が行った実態調査では、中学2年生の場合で約17人に1人、高校2年生の場合で約24人に1人がケアの経験をしています。

ケアにかかる時間は、平日で平均4時間で、7時間以上と回答した人も1割程いることがわかりました。



ヤングケアラーコーディネーターと話してみませんか

家族のお世話やケアをすることは悪いことではないけれど、それが大きな負担になり、健康や学業への影響がでているときは注意が必要です。当たり前になっているために、自分ではその負担や影響に気づきにくい場合があります。

ちょっと話をしたいとき、モヤモヤする気持ちや困りごとなどを相談したいときには、ヤングケアラーコーディネーターにご連絡ください。悩んでいることなど一緒に考えます。

通信費のみで相談料はかかりません。
秘密は守ります。



ご連絡は
LINEのチャットもご利用ください。
どなたでも登録いただけます。

公式LINEアカウント

「府中市ヤングケアラープロジェクト」
に登録をしてお知らせを受け取ろう



二次元コードを読み取るかURLからアクセスできます。
<https://page.line.me/601dwgfh>

2023年度に実施する5つのプロジェクト

1 実態調査

府中市におけるヤングケアラーの実態や支援関係機関の認識を明らかにするため児童・生徒、教員、福祉や介護のサービス事業者等を対象に実態調査を行います。

2 相談支援

ケアラーワークスおよび府中市子育て世代包括支援センター「みらい」のヤングケアラーコーディネーターが、多様な機関と連携を図りながら、ヤングケアラーとその家族の相談支援を行います。

3 研修会の実施

自治体職員、教育、福祉や医療等の関係機関に対して、ヤングケアラーの理解を深め、支援の在り方について検討を行うための研修を実施します。

4 周知啓発

一般市民や関係機関に対して、広くヤングケアラーの理解や、相談先の普及啓発を図るため、SNS等を使った周知活動や講演会を実施します。

5 関係機関との連携

ヤングケアラーの支援基盤を構築するために、多様な立場の委員を参集し、情報共有や支援基盤づくりに関する検討を行います。